



2023年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社ワコールホールディングス

代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 安原 弘展

(コード番号3591 東証プライム市場)

問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長 廣岡 勝也

(TEL 075-682-1010)

業績予想の修正および減損損失の計上に関するお知らせ (IFRS)

2022年11月11日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の
通期連結業績予想に関しまして、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 連結業績予想の修正 (国際財務報告基準)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	200,000	5,000	8,000	10,500	8,000	131.22
今回修正予想 (B)	190,000	2,000	△5,500	△3,000	△4,000	△66.26
増減額 (B-A)	△10,000	△3,000	△13,500	△13,500	△12,000	
増減率 (%)	△5.0	△60.0	-	-	-	
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	172,072	494	3,291	4,083	1,732	27.83

※当社グループは、当第1四半期連結累計期間の期首より、国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用しており、前期実績においてもIFRSに組み替えて表示しております。

2. 修正の理由

ワコール事業 (国内) において、収益力向上と事業構造改革に取り組んでまいりますが、第3四半期連結累計期間同様に、経営環境は引き続き厳しい状況を想定しております。ワコール事業 (海外) においても、米国は個人消費の減速や取引先における在庫調整の影響を受けて低調に推移しているほか、中国は感染症に対する厳格な行動制限による苦戦もあり、売上収益、事業利益は前回発表予想を下回る見込みです。営業利益は、連結子会社であるWACOAL INTERNATIONAL CORP. (米国) ののれんおよび無形資産の減損損失を計上したことにより、前回発表予想を下回る見込みです。

なお、今回修正予想には、本日別途発表の「フレックス定年制度の特別運用の実施結果およびフレックス定年制度の改定について」の影響も織り込んでおります。

3. 減損損失の計上について

連結子会社のWACOAL INTERNATIONAL CORP.（米国）については、ECでの成長機会の創出と競争力の強化を図るため、2019年に“LIVELY”ブランドを展開するIntimates Online, Inc.を買収しました。しかしながら、デジタルマーケティングに関するプライバシー規制の強化や足元の個人消費の減速など外部環境の変化を踏まえ、WACOAL INTERNATIONAL CORP.（米国）の回収可能価額を再評価した結果、のれん、無形資産および使用権資産について、それぞれ8,344百万円、1,236百万円、529百万円の計10,109百万円を減損損失として計上いたします。当社は、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しているため、これらの減損損失はその他の費用となり、営業利益に影響します。また、これに伴う当期利益への影響額は9,820百万円の減少となります。

4. フレックス定年制度の特別運用の実施結果およびフレックス定年制度の改定について

本日別途発表の「フレックス定年制度の特別運用の実施結果およびフレックス定年制度の改定について」の通り、連結子会社の株式会社ワコールにおけるフレックス定年制度の特別運用に伴う費用として、その他の費用に約7億円の計上を見込んでおります。一方で、同社のフレックス定年制度の一部改定に伴い、売上原価および販売費及び一般管理費で約10億円の減少を見込んでおります。

以 上